

大学番号：私481

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

神戸薬科大学大学院 薬学研究科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 神戸薬科大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	事務局	総務課
職名・氏名	課長補佐	フジツカサヒロ 藤塚雅弘
電話番号	078-453-0031	
（夜間）	078-441-7502	
F A X	078-441-7506	
e-mail	soumu@kobepharma-u.ac.jp	

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	5
3 施設・設備の整備状況、経費	8
4 既設大学等の状況	9
5 教員組織の状況	10
6 留意事項に対する履行状況等	17
7 その他全般的事項	18

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 神戸薬科大学

(2) 大学名

神戸薬科大学

(3) 大学の位置

〒658-8558
兵庫県神戸市東灘区本山北町4丁目19番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ササベ ショウゴ) 雀部 昌吾 (平成18年6月1日)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(タナハシ タカオ) 棚橋 孝雄 (平成19年4月1日)		
研究科長	(タナハシ タカオ) 棚橋 孝雄 (平成19年4月1日)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)
平成24年度に報告する内容 → (24)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 薬学専攻(博士課程) 博士(薬学)	4年	3人	12人	基礎となる学部等 薬学部 14条特例の実施

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	3人 () []	() []	2.00倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	6 (2) []	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	6 (2) []	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	6 (2) []	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	6 (2) []	() []		
入学定員超過率 B/A	—		—		2.00			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[—]	[—]	[—]	[—]	6	—	
2年次	/		[—]	[—]	[—]	[—]	
3年次	/		/		[—]	[—]	
4年次	/		/		[—]	[—]	
計	[—]		[—]		[—]		
					6		

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [—]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	人	人	平成21年度	人	人		%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度 入学者	人	人	平成22年度	人	人		%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	人	人	平成23年度	人	人		%
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	6人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
合 計	6人	0人					0%

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<神戸薬科大学大学院 薬学研究科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
薬学専門教育科目	薬学研究基盤形成教育	1通	4			1							
	化学系創薬学特論	1・2前		2		4	1						
	物理系創薬学特論	1・2前		2		3							
	生物系創薬学特論	1・2後		2		2	3						
	臨床薬剤学特論	1・2前		2		2	1						
	病態薬理生化学特論	1・2後		2		2	1						
	疾患解析治療学特論	1・2前		2		2							
演習科目	薬学演習Ⅰ	1通	1			15	6	15	7	8	18	5	昇任により、専任教員等の配置を変更(24) 薬学演習Ⅰ～Ⅳ担当 中川 公恵(准教授) 沖津 貴志(講師) 士反 伸和(講師) 藤波 綾(講師) 採用により、専任教員を追加(24) 薬学演習Ⅰ～Ⅳ担当 棚橋 俊仁(准教授) 萩森 政頼(講師) 新任により、専任教員を追加(24) 薬学演習Ⅰ～Ⅳ担当 安岡 由美(講師) 池畑 美香(助教) 辞任により、専任教員減少(24) 薬学演習Ⅰ～Ⅳ担当 三木 生也(講師)
	薬学演習Ⅱ	2通	1			14	5	15	7	7	18	5	
	薬学演習Ⅲ	3通	1			13	5	15	7	7	18	5	
	薬学演習Ⅳ	4通	1			12	5	15	7	7	18	5	
研究・研修科目	薬学課題研究Ⅰ	1通		4		15	6	15	7	8	18	5	昇任により、専任教員等の配置を変更(24) 薬学課題研究Ⅰ～Ⅳ担当 中川 公恵(准教授) 沖津 貴志(講師) 士反 伸和(講師) 藤波 綾(講師) 採用により、専任教員を追加(24) 薬学課題研究Ⅰ～Ⅳ担当 棚橋 俊仁(准教授) 萩森 政頼(講師) 新任により、専任教員を追加(24) 薬学課題研究Ⅰ～Ⅳ担当 安岡 由美(講師) 池畑 美香(助教) 辞任により、専任教員減少(24) 薬学課題研究Ⅰ～Ⅳ担当 三木 生也(講師)
	薬学課題研究Ⅱ	2通		4		14	5	15	7	7	18	5	
	薬学臨床研修Ⅰ	1通		4		2				7	18	5	
	薬学臨床研修Ⅱ	2通		4		2				7	18	5	
	薬学課題研究Ⅲ	3通	4			13	5	15	7	7	18	5	
	薬学課題研究Ⅳ	4通	4			12	5	15	7	7	18	5	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
7科目	10科目	科目	17科目	科目	科目	科目	科目	変更なし。
				[]	[]	[]	[]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	42,250㎡	㎡	㎡	42,250㎡				
	運動場用地	18,132㎡	㎡	㎡	18,132㎡				
	小 計	60,382㎡	㎡	㎡	60,382㎡				
	そ の 他	36,257㎡	㎡	㎡	36,257㎡				
	合 計	96,639㎡	㎡	㎡	96,639㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	39,252㎡ (39,252㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	39,252㎡ (39,252㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	補助職員3人の内 1人は教員			
	36室	7室	14室	3室 (補助職員 3人)	0室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
				45 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	平成24年5月1日現在の 調査により、数値が確 定したため変更(24)	
	薬学研究科 薬学専攻	111,000 [32,400] 106,498 [29,824] 107,800 [32,000]	564 [332] 554 [323] 552 [324]	3,240 [3,235] 2,890 [2,888] 3,000 [2,995]	2,675 2,616 2,595	47 (47)	0 (0)		
	計	111,000 [32,400] 106,498 [29,824] 107,800 [32,000]	564 [332] 554 [323] 552 [324]	3,240 [3,235] 2,890 [2,888] 3,000 [2,995]	2,675 2,616 2,595	47 (47)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,291		288		118,667				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				建替工事中(24)		
	0 -1,575 ㎡		テニスコート2面						
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	平成24年度5月1日現在の 再調査(大学院生の 在籍研究室の確定等) に伴い変更(24) 図書費には電子ジャー ナル・データベースの 整備費(運用コストを 含む)を含む。 第1年次は入学金を含 む。
		教員1人当たり研究費等	1,300千円 790千円	— 千円	図書購入費	300千円	300千円	— 千円	
	共同研究費等	22,000千円	— 千円	設備購入費	5,000千円	5,000千円	— 千円		
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		800千円	600千円	600千円	600千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

- (注)・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	神戸薬科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
薬学部 薬学科	6	270	該当なし	1,620	学士(薬学)	1.08	平成18	兵庫県神戸市 東灘区本山北町 4-19-1	平成24年度より 学生募集停止
薬学研究科 修士課程 薬科学専攻	2	5	該当なし	10	修士(薬科学)	0.5	平成22		
博士課程 薬学専攻	4	3	該当なし	12	博士(薬学)	2	平成24		
博士後期課程 薬学専攻	3	-	該当なし	-	博士(薬学)		昭和54		
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
- (専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科 薬学専攻（博士課程）>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学長、研究科長)	棚橋 孝雄	平成24年4月	化学系創薬学特論 隔年 薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ						
専	教授	岡野 登志夫	平成24年4月	生物系創薬学特論 隔年 薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ						
専	教授	守安 正恭	平成24年4月	化学系創薬学特論 隔年 薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ						
専	教授	岩川 精吾	平成24年4月	臨床薬剤学特論 隔年 薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学臨床研修Ⅰ 薬学臨床研修Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ 薬学研究基盤形成教育						
専	教授	太田 光照	平成24年4月	病態薬理生化学 特論 隔年 薬学演習Ⅰ 薬学課題研究Ⅰ						
専	教授	吉野 伸	平成24年4月	病態薬理生化学 特論 隔年 薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ						
専	教授	小林 典裕	平成24年4月	物理系創薬学特論 隔年 薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ						
専	教授	和田 昭盛	平成24年4月	化学系創薬学特論 隔年 薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ						

専	教授	中山 尋量	平成24年4月	物理系創薬学特論 隔年 薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	教授	北川 裕之	平成24年4月	生物系創薬学特論 隔年 薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	教授	北河 修治	平成24年4月	臨床薬剂学特論 隔年 薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	教授	水野 成人	平成24年4月	疾患解析治療学 特論 隔年 薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	教授	宮田 興子	平成24年4月	化学系創薬学特論 隔年 薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	教授	江本 憲昭	平成24年4月	疾患解析治療学 特論 隔年 薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学臨床研修 I 薬学臨床研修 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	教授	向 高弘	平成24年4月	物理系創薬学特論 隔年 薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	准教授	小林 吉晴	平成24年4月	病態薬理生化学 特論 隔年 薬学演習 I 薬学課題研究 I						
専	准教授	山野 由美子	平成24年4月	化学系創薬学特論 隔年 薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						

専	准教授	竹内 敦子	平成24年4月	生物系創薬学特論 隔年 薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	准教授	寺岡 麗子	平成24年4月	臨床薬剂学特論 隔年 薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	准教授	津川 尚子	平成24年4月	生物系創薬学特論 隔年 薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	准教授	小西 守周	平成24年4月	生物系創薬学特論 隔年 薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	講師	多河 典子	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	講師	竹仲 由希子	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	講師	八木 敬子	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	講師	上田 久美子	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	講師	三上 雅久	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	講師	八巻 耕也	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						

専	講師	西村 克己	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	講師	中川 公恵	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV	准教授		平成24年4月		平成24年4月昇任 (24)	
専	講師	灘中 里美	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	講師	水谷 暢明	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	講師	三木 生也	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV				薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV	平成24年3月退職により辞任。すべての担当授業科目を、水野成人教授及び平成24年4月採用の齋藤俊仁准教授が担当。(24)	
専	講師	田中 将史	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	講師	上田 昌史	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	講師	西山 由美	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	講師	都出 千里	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	助教	林 亜紀	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						
専	助教	前田 秀子	平成24年4月	薬学演習 I 薬学演習 II 薬学演習 III 薬学演習 IV 薬学課題研究 I 薬学課題研究 II 薬学課題研究 III 薬学課題研究 IV						

専	助教	沖津 貴志	平成24年4月	薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ		講師		平成24年4月		平成24年4月昇任 (24)
専	助教	土反 伸和	平成24年4月	薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ		講師		平成24年4月		平成24年4月昇任 (24)
専	助教	藤波 綾	平成24年4月	薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ		講師		平成24年4月		平成24年4月昇任 (24)
専	助教	大山 浩之	平成24年4月	薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ						
専	助教	増田 有紀	平成24年4月	薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ						
兼任	教授	内田 吉昭	平成24年4月	薬学研究基盤形成教育						
兼任	教授	中江 裕子	平成24年4月	薬学研究基盤形成教育						
兼任	教授	木口 敏子	平成24年4月	薬学研究基盤形成教育						
兼任	准教授	松家 次朗	平成24年4月	薬学研究基盤形成教育						
兼任	講師	山元 二郎	平成24年4月	薬学研究基盤形成教育						
兼任	講師	土井 脩	平成24年4月	薬学研究基盤形成教育						
兼任	講師	平井 みどり	平成24年4月	疾患解析治療学特論 隔年 薬学臨床研修Ⅰ 薬学臨床研修Ⅱ						
					専	准教授	棚橋 俊仁	平成24年4月	薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ	採用により担当教員となった。(24)
					専	講師	安岡 由美	平成24年4月	薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ	新任により担当教員となった。(24)

					専 講師	萩森 政頼	平成24年4月	薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ	採用により担当教員となった。 (24)
					専 助教	池畑 美香	平成24年4月	薬学演習Ⅰ 薬学演習Ⅱ 薬学演習Ⅲ 薬学演習Ⅳ 薬学課題研究Ⅰ 薬学課題研究Ⅱ 薬学課題研究Ⅲ 薬学課題研究Ⅳ	新任により担当教員となった。 (24)

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「届出時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

届出時の計画				変更状況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
17	22	39	0	23	23	46	0	
(21)	(22)	(43)	(0)	[2]	[1]	[3]	[0]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	三木 生也	平成24年3月31日付退職。

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

三木生也講師の退職については、水野成人教授及び平成24年4月1日付採用の棚橋俊仁准教授が、すべての授業担当科目を担当するため支障はないと考えている。なお、学生への周知については、大学広報誌で告知している。

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 薬学専攻（博士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
臨床薬学コースと創薬・育薬コースの2コース制。	大阪大学を申請担当大学とする「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の連携大学となり、そのプランが、平成24年3月に選定されたため、連携大学として、大阪大学、大阪薬科大学などと大学院においてがん専門薬剤師養成について検討中である。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学院FD実施委員会を平成23年度に設置予定であったが、大学院FD実施委員会設置の準備段階として、新しい4年制博士課程設置に向けたワーキンググループ会議を設置、実質的なFD取組検討の場として機能し、その案を大学院教授会で審議している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成23年度は、大学院教授会を24回開催し、その内FDに関して5回の審議を行い、これに毎回約15名の大学院教員が参加した。

c 委員会の審議事項等

異なる専門分野の複数の教員が論文作成等の研究指導を行う体制を確保することが重要とされているため（平成23年1月31日開催の中央教育審議会）、複数の指導教員が研究指導体制をとること（講座主任と講座が異なる副指導教員が研究指導を行う）等を審議している。

② 実施状況

a 実施内容

- (1) FD活動の一環（神戸大学との戦略的連携事業）として、国内の2教授による医薬品に関する危機管理合同研修やグループワーク研修を開催した。
- (2) FD活動の一環として、大学院で創薬育薬教育を推進するため、製薬企業の研究所長を招聘し、創薬から臨床に至る医薬品開発や画期的新薬の国際展開に関する講演会を実施した。
- (3) 関西地区FD連絡協議会に加入し、教員へ他大学でのFDについての広報を行った。

b 実施方法

- (1) (2)教授会、大学院教授会で実施することの報告を行い、学内電子メール、ポスターで予告の上、研修や講演会等を開催した。
- (3) 関西地区FD連絡協議会の情報を基に、電子メールにて、他大学でのFD取組内容を告知した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 平成23年10月、11月及び平成24年2月に神戸大学との戦略的連携事業の一環として実施した危機管理合同研修及びグループワーク研修には、本学教員のべ約40名の他、多くの医師、看護師、医療関係者が参加した。
- (2) 平成24年1月に実施した創薬から臨床に至る医薬品開発や画期的新薬の国際展開に関する講演会には、教員約15名、事務職員4名等が参加した。
- (3) 平成23年度は、約20回の電子メール送信により、他大学での具体的なFDの取組内容を周知できた。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 平成24年10月に多職種協働教育（IPE）講演者を海外から招聘する等、今後も引き続きFD研修及び講演会等を実施していく予定である。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
- ・授業評価アンケートを14特論科目、約40名の教員に対して実施、各科目の最終講義で配布し回収している（大学院生の他、科目等履修生、聴講生にも実施）。
 - ・新たな博士課程特論科目においても、同様の授業評価アンケートを実施する予定である。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- ・結果を教員ヘフィードバックし、授業内容や授業方法の改善に役立てている。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
 ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- 薬学専攻博士課程は、高度な専門領域での専門能力を発揮して医療に貢献するとともに、自立して研究する能力も備えた臨床薬剤師及び創薬、育薬を担う人材としての研究者及び教育者の養成を目的としている。初年度は、入学定員3名に対し、入学者は6名（受験者、合格者ともに6名）であり、そのうち2名が社会人（そのうち1名が他大学出身者）という結果であった。発足初年度である平成24年度は本課程の趣旨・目的に沿った学生の確保ができたと考えている。
- 今後も引き続き優秀な学生の確保に向け、学内においても卒業研究を推進し、研究に積極的に取り組む学部学生の大学院進学を勧めるとともに、ホームページの積極的な活用及び募集要項の充実等、広報活動に努める計画である。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
- ・平成24年8月31日（公表予定）
- b 公表方法
- ・大学ホームページ上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・2008（平成20）年に財団法人大学基準協会より大学評価並びに認証評価を受け、2009（平成21）年4月1日付で大学基準に適合しているとの認定を受けた（認定期間は2016（平成28）年3月31日まで）。平成24年7月に中間報告書を提出することになっており、その際に当該の大学院博士課程の事項を含め、自己点検・評価を行う計画を立てている。

(注) ・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
 ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成24年6月1日)